

# テイル・オイレンシュピーゲルの ノートゲルト

加藤 正宏



## 序

テイル・オイレンシュピーゲルは一六世紀初期にドイツで出版された民衆本の主人公で、一四世紀に実在した遍歴職人をモデルにしたと言われている。ブラウンシュヴァイク近くのクナイトリンゲン村に生まれたテイルが、村を出て各地で手工業職人や画家、医師などさまざまな職業

につきながら、周囲の人、特に威張りかえった親方や役人、医者や貴族、教皇などを虚仮にしてゆく滑稽話が全体で九五話（第九六話までだが第



オイレンシュピーゲル像

四二話を欠く）集められている。言いつけられたことを通常に社会で使われている意味でなく、わざと言語通りの言葉で実行して相手を困らせたりした。内容には「脱糞」「放屁」「鼻汁」などが何度も登場し、スカトロジョー的な要素も多く含まれているものの、機知に富んだ悪戯であらゆる階層の人々を手玉にとり、読者の人気を集めた。

本項で取り上げようとしている一九二〇年代に発行されたノートゲルトは勿論のこと、テイル・オイレンシュピーゲルについては、二〇一一年に発行されたテイル・オイレンシュピーゲル五〇〇年のドイツ連邦共和国の一〇ユーロ銀貨に、また同年の五五セントのドイツ連邦共和国郵票に用いられている。一九七七年には既に五〇ペニツヒに彼のエピソードを取り上げた郵票が発行されている。音楽でも、ドイツの作曲家



2011年 ドイツ連邦共和国 10ユーロ銀貨  
(オイレンシュピーゲル500年)

で「ツアラトウストラはかく語りき」などで知られるリヒャルト・シュトラウスによって、一九世紀末に交響詩「テイル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」が作曲されている。

「オイレンシュピーゲル (Eulenspiegel)」の名であるが、高地ドイツ語名の語源解釈では「フクロウと鏡 (Eule+Spiegel)」となる。オイレンシュピーゲルの民衆本は本来高地ドイツ語で伝えられてきたものが高地ドイツ語に翻訳されており、口承で伝わってきた本来の高地ドイツ語の方言では彼の名は「ウーレンシュペーゲル (Ulenspiegel)」と発音され、これは当時の低地ドイツ語で「拭く (tun)」と「尻」(狐師仲間の隠語の Spiegel)、すなわち「尻を拭く」を意味するという。この両者のそれぞれの名については、民衆本の挿し絵や九五話の滑稽話の中で描かれたり



語られたりしている。

オイレンシュピーゲルは一三五〇年にペストがもとで亡くなった。彼が亡くなったのはドイツ北部のシュレースヴィヒ・ホルシュタイン州ヘルツォークトウム・ラウエンブルク郡にあるメルンの町である。この町にはオイレンシュピーゲルの墓碑が聖ニコライ教会の外にあるだけでなく、町は今では彼のゆかりの地として知られ、彼の彫像や博物館などがある。そして、彼を想起させるいろいろなものが見いだせるのがこの町である。メルンはハンブルク中央駅から電車で約一時間、リュubeckから中央駅から電車で約二五分にあるラウエンブルク湖自然公園の中にある小さな町だとのことである。



メルンとその周辺地図

テイル・オイレンシュピーゲルが生まれたクナイトリンゲン村に近いニーダーザクセン州の代表的都市がブラウンシュヴァイクである。五六キロメートルほど北西には州都ハノーファーが位置する。そして、南東二九キロメートルにクナイトリンゲンが位置する。このことによつて、一〇ペニツヒ、二五ペニツヒ、

### ーブラウンシュヴァイク



メルンにあるオイレンシュピーゲル関連物  
左：案内板 中央：彫像 右：聖ニコライ教会の墓碑



ブラウンシュヴァイクとその周辺地図

ブラウンシュヴァイクの民衆は低地ドイツ語で伝えられてきたものが一六世紀初期に高地ドイツ語で出版されたことを考えると、裏面の文を低地ドイツ語や方

五〇ペニツヒ、七五ペニツヒの四枚のテイル・オイレンシュピーゲルを主題としたブラウンシュヴァイクのノートゲルトが発行されている。四枚のそれぞれの裏面の文章の文字を確定して、自動翻訳機にかけて、日本文に翻訳してみても日本文だと言えそうなものにどうしてもならないし、画面とも合致しないように思えて、ドイツ語に造詣の深い方の助言を受けたところ、どうもこれらの文は高地ドイツ語を基礎とした現代ドイツ語ではなく、低地ドイツ語や地方方言で書かれたものだろうとのことであった。テイル・オイレンシュ

言で敢えて書いたのであろうとの推察もできる。

そこで、以下の四枚の背面の文をドイツ語に造詣の深い方の助言を得ながら、日本語に移したが、翻訳そのものとは言えない大意訳になってしまわざるをえなかった。その点は大目に見ていただきたい。

### ◆一〇ペニツヒ 表面〔写真1〕



【写真1】1921年 10ペニツヒ 表面

紙幣上段に太い文字で「ブラウンシュヴァイクのノートゲルト」と記し、紙幣中段には右にニーダーザクセン州の紋章であるザクセン人の白い馬を描き、左には額面の一〇ペ